

■「心を響かせる」部門

◇阿部 志保子 さん

尚絅女学院短大在学中、CWU 短期語学留学を経験。その後、留学資金を貯め、CWU の ELS を経て CWU の心理学部に編入学を果たした。仕事をしながら CWU で学士号を取得し、帰国後、尚絅学院大学の大学院心理学専攻に第一期生として入学し、修士号を取得した。その後、仙台市発達相談支援センター（南部アーチル）の相談員を務めながら、公認心理士の資格を取得し、現在、発達障害を持つ大人が地域で安心して生活する為の相談をおこなっている。学びを活かし、自らを磨き続けており、尚絅学院の建学の精神を具現化して他者と共に生きる働きを担い、社会に貢献している。学生たちに将来の希望を与えるキャリアアップの一つの手本となる心に響く存在といえる。

◇高木 竜輔 さん

福島原発事故の被災地域に、日本の社会科学の研究者の中で最も足しげく通っている一人であり、被災者に寄り添った心に響く研究を継続して行っている。共感を熱意にし、かつ冷静に、被災者の置かれた状況に関する社会学的な分析を展開している。

■「自信をみがく」部門

◇松本 紗矢 さん

保育士として勤務する傍らインスタグラム(hoicu.345)で自ら制作した保育教材や保育に役立つ情報を発信している。メルカリでの保育教材販売も展開しており、これらの活動が評価され、保育者や保護者向けの保育雑誌で取り上げられたり、保育関連の書籍の中で「育児のお悩み Q&A」の執筆などの活動も行っている。2022 年度から学研 Paprika の公式アンバサダー。この春には「インスタ保育研究所」を立ち上げ始動する予定である。今はあそび歌の作詞作曲にも着手しており、出版が待たれている。これらの活動で、さらに自信をみがいているといえる。

■「キャンパスをひらく」部門

◇佐々木 翔平 さん

学内では、OCスタッフや Library Mate、ボランティアチーム TASKI や大学内でのワークスタディなどの活動を、学外では、せんだいスポーツボランティアステーションや市民スポーツボランティア SV2004、カメイアリーナでの施設見学のボランティア、みやぎ INAKA ゼミの活動に参加し、地域の方をはじめとした外部の方と広く交流した。さまざまな活動を通して得た経験は、今後の活動のさらなるステップアップにつなげてほしい。

コロナ禍の中でも、積極的に活動し、多くの方に本学を知ってもらおうきっかけを作りだした。今後の更なる活躍を期待する。